

令和元年

建設文教委員会

8月6日

豊明市議会

建設文教委員会会議録

令和元年8月6日

午前10時38分 開会

午後零時00分 閉会

1. 出席委員

委員長	清水 義昭	副委員長	近藤 千鶴
委員	いとう ひろし	委員	林 ゆきひろ
委員	近藤 ひろひで	委員	宮本 英彦
委員	近藤 郁子		
議長	三浦 桂司		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木 美智雄	議事課長	近藤 恒明
議事担当係長	花井 悟之	議事課主事	松林 淳

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	坪野 順司
教育長	伏屋 一幸	教育部長	小串 真美
学校教育課長	高木 安司	学校教育課長補佐	北川 宜志

5. 傍聴議員

服部 龍一	堀内 ちほ	中村 めぐみ	ごとう 学
青木 亮	鵜飼 貞雄	郷右近 修	一色 美智子
毛受 明宏	月岡 修一	ふじえ 真理子	近藤 善人

6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午前10時38分開会

○建設文教委員長（清水義昭議員） ただいまより建設文教委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本委員会に付託されてございます案件は、議案第59号の工事請負契約の締結についての1件でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ありがとうございます。

続いて、議長より御挨拶をお願いします。

三浦議長。

○議長（三浦桂司議員） 中学校のエアコンのキュービクルの件ですけれども、的確な質疑、かつ討論があればよろしく願いしておきます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

ここでお諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 本日の傍聴については、申し合わせに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

（一般傍聴者入室）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。

それでは、議案第59号 工事請負契約の締結について（キュービクル更新等工事）を議題といたします。

理事者より簡潔に説明を求めます。

高木学校教育課長。

○学校教育課長（高木安司君） それでは、議案第59号 工事請負契約の締結についてを御説明します。

1、工事名は、キュービクル更新等工事です。

2、工事場所は、豊明市西川町横井地内外です。

3、工事の概要は、キュービクルの更新、エアコン設置のための配線及びコンセント設置です。

4、請負契約金額は、1億1,990万円です。

5、請負契約者は、名古屋市東区東桜二丁目3番22号、カシワギ電気株式会社、代表取締役、柏 洋人です。

6、契約の方法は、一般競争入札（事後審査型）です。

この案を提出するのは、キュービクル更新等工事（豊明中学校外2校）施工のために必要があるからです。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

宮本委員。

○宮本英彦委員 恐れ入りますけど、資料請求を要求させていただきます。

工事請負契約の締結の議案でございますけれど、この締結議案が緊急議会における上程案として妥当性があるかどうかを判断するため、今後のスケジュール、エアコン等の設置等を含めて、今後のスケジュールがわかる資料の提出をお願いしたいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ただいま宮本委員からスケジュールについての資料請求がありました。当局において用意できますでしょうか。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 用意できます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 時間はどれくらいかかりますでしょうか。

（5分もあればよろしいかと思えますの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） お諮りいたします。本委員会として資料要求することに賛成の方の挙手を願います。

(賛成者挙手)

○建設文教委員長(清水義昭議員) 賛成全員です。

資料がなくてほかの質疑ができますか。できますね。じゃ、用意ができたら配ってください。

質疑を続けます。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回……。

○建設文教委員長(清水義昭議員) あれ、ちょっと待った、ごめんなさい。答弁者がいなくなっちゃった。

資料の準備しますんで、暫時休憩にします。

午前10時42分休憩

午前10時45分再開

○建設文教委員長(清水義昭議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

休憩中に当局より資料の提出がありましたので、その内容について簡単に説明願います。
高木課長。

○学校教育課長(高木安司君) それでは、今、お配りしました資料について説明したいと思います。これ、前回6月議会でもお配りしましたのに少し修正を加えたものでございます。

まず、下段から説明します。エアコン備品購入につきましては、6月議会でお認めいただきましたとおり、156台、1,887万6,000円で購入することになっております。

その隣でございますが、これは今回審議の対象になっておりますキュービクル更新工事の款項目が落としてあるものでございます。

上段に上がりまして、エアコン関連工事としましては、キュービクル更新等工事、エアコン設置工事、エアコン備品購入と3本で進めていきます。

キュービクル更新工事につきましては、今回8月のあたりを見ていただくとおわかりになるかと思いますが、議会で承認されれば、8月中下旬ぐらいから着手に入りたいと思っております。12月に、冬休み中にキュービクルの入れかえ、これ、停電を伴いますので、この時期に何としても入れたいというふうに考えておりまして、3月中下旬を完了と見込んでおります。

それに並行いたしまして、下のエアコン設置工事につきましては、今、設計の試算中で

ございますので、かなり固まってきておりますので、でき次第契約事務を行いまして、9月に入りましたら着手、今、御説明に上がっておりますキュービクルの更新工事に合わせながら進めていきます。

最終的に3番のエアコンの納品でございますが、設置工事が済みましたらそれに基づいて納品していくという形になります。

以上で説明を終わります。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。質疑を続けます。

質疑のある方は挙手願います。

宮本委員。

○宮本英彦委員 そのスケジュールのところでは御質問しますが、いずれもキュービクルの更新工事も、3月末完了ということになっておりますけど、これは逆にいえば3月末までに完了しなければならないという意味かと思うんですけど、その完了しなければならないという理由について、説明願います。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） エアコン設置工事が昨年度の繰り越し工事という形になっておりますので、これでさらに繰り越すとすると、事故繰越という項目になります。そうすると、また国のほうに改めて伺いを立てないかんということがございますので、今回、何とか3月末で終わりたいというふうに考えております。

以上です。

済みません。国費で補助金で対応しておりますので、その面もありますので何とか年度内に終わりたいということがございます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その回答についてちょっと質問なんですけども、補正予算のときに、国からの国費だったりというのは計上されてなかったんですけど、今回のキュービクル更新工事には国からの補助あるいは県からの補助というのはあるんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） これも前回、宮本委員からの御質問があったとおり、増強部分については国費の対象になるんですが、既にエアコンの設置工事とエアコン購入の

ほうで国費の枠が埋まっておりますので、今回は対象にしてございません。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうだとすると、国のほうに申請する意味はないような気がするんですけども、それでも申請する必要はあるんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 先ほど説明したのは、エアコン設置工事のほうが国費対応なので、それが繰り越せないという話で、キュービクル更新工事につきましては、6月議会でやっておりますので、繰り越し工事ではないというのと、また国費でもないので、両方の面から今の話とはちょっと該当しません。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 今の質疑の確認です。エアコンが設置されても、電源供給がされないと稼働した状態が確認できないのかという意味でよろしいですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 今、当然、近藤委員が言われたとおり、キュービクルが入らないことにはエアコンは全然動かないので、繰り越せるんですけど、繰り越すことができないということが言えます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 スケジュールについてなんですけども、先ほどキュービクルの工事の中で停電をしなければならない、それが12月の終わりのところに来ることなんですけども、以前、ちょっとお話を聞いたときには、ここになるかどうかちょっと協議中だったんですけど、もう、この年末年始のところにならぬような停電の時期が来るというのは確定ということではよろしいでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まだ本契約をしておりませんので、業者とは打ち合わせしてないので、あくまでも予定で、今、入れております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 きょう、緊急議会で審議されてるわけですが、緊急議会が行われないうスケジュールだと、このキュービクルの設置工事の工程というのはどんな形を想定されてみえたんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 前、お配りしたものをもちだすとわかりやすいかと思うんですけど、当然ここで契約していかないと、9月からが着手になります。キュービクルの製品自体の工場製作が3カ月ほどかかりますので、今、予定しておりますキュービクルの入れかえが冬休み中は少し難しいんじゃないかなというふうに考えておまして、それができないと3月の春休みにやることになってしまうと、今、考えているのは、前は3日程度で済んだんですけど、中学校はちょっと大きいものですから、10日ぐらいかかると聞いておりますので、とてもちょうと春休み中の入れかえが難しいかなということを考えておりますので、その辺から見ると今回の、今の時期に着手したいというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 お聞きしたかったのはそういう、それは理解できます。ただ、要は5月の設計業務へ入ったときに、この8月に緊急議会をして承認をとるという予定でスケジュールを組まれたのかということです。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 設計が入ったときには、まだ全然、ゼロの状態でしたので、3月までには終わるということですが、キュービクルをいつ入れかえるかということまでは当然、設計業務に入ったときはわかっておりませんので、その後、設計ができる段階で設計業者と打ち合わせしていきますので、その中ではやはり12月がいいんじゃないかということが判明しましたので、今回こういった形で上げさせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回、停電が10日間ほどという、先ほどお話でしたけども、学校の授業などへの影響はないという認識でよろしいでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 当然、学校の授業が大事ですので、そうすると冬休みぐらいしか10日とれないかなということを考えておりました、こういった計画にさせていただいております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 この請負工事、請負契約の締結の請負業者なんですけど、カシワギ電気さん。住所と会社名と代表者が書いてあるんですけど、ここの従業員数、資本金、それから実績等々、このカシワギ電気さんが妥当性があるかどうかを判断する説明をしてください。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） カシワギ電気株式会社につきましては、資本金5,000万、従業員数は34名でございます。会社の業務内容としましては、電気設備設計施工、受変電設備、動力配線設備等設計施工工事などを行っております。実績を見ますと、変電設備につきましては、守山区役所、幸田町役場、名古屋教育館で行っております。電気設備関係では、県とか名古屋市、豊田市、知立市、みよし市で実績がございます。

以上でございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとうひろし委員。

○いとうひろし委員 先ほど、設計業務を行っているときには、まだスケジュールがはっきりわかってないって言われてましたよね。当初、予算額が2億8,000万で始まってると思うんですけども、そのときに、例えば夏物衣料は夏に買えば高いけど、冬に買えば安いじゃんね。だから、キュービクルもこっだけ予算が変わってきた要因の1つにはそういった時期の設置も要因の1つではあるのかなと思って質問いたします。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 本会議場で部長が答えたように、いろんな要因があって、直接その業者から聞くというのはなかなか難しいところがあるんですけど、私どもが推察する中では、やはり、当然冬場とか夏場というよりは、今回全国的にエアコン設置が行われておって、その中で時期がもうこれで終わりますよね。そういった感じで、需給バランスというか、そういう形で安くなったということはあるかと思います。

以上です。

（そうですね、ありがとうございますの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 じゃ、関連でお聞きします。

今、おっしゃったように、小学校の工事がほぼ全国的に終わってると思うんですね。だから、先ほど部長が言われたように、業者のほうも、私も若干そういうことにもかかわる仕事をしておりますが、大きな受注を受けるときには、下請さんをふやしたりとか、それに対する銀行取引の枠をふやしたりとか、いろんな準備があります。で、一段落したんでいいですよということはないかな、私たちは民間だからやらないんで、おつき合いというのがありますので。ですから、今、いとう議員が質問された内容と重複しますが、業者のほうにも施工、全体、今、言ったような要因で余裕が生まれたことにより、これはもう想定でしかないですけど、結果、入札価格が大幅に下げたというのか、下がったというのか、だというふうに考えますが、いかがですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 近藤委員の言われるとおりだと思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 単純な質問で申しわけないんですけど、これ、入札が1億900万、税抜き金額なんですよ。で、契約が1億1,990万で、10%の消費税がかかるとんですけど、これは8%、今、契約して8%ということではないんですか。この8%か10%の線引きというのはどこなんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 最終的に、納品した段階が時期になりますので、それが消費税が10%の時期に当然3月はなってますので、そういった関係で10%の消費税ということになります。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 そういうことで、わかりました。であるなら、その1億1,990万が契約締結価格ですけど、ここの最大でちょっと疑問に思うのが、先ほど本会議質疑でもありましたけれど、ことし6月の補正予算で、即断即決で補正予算を議決したこの金額、補正予算金額が2億7,148万円だったんですよね。これと、私の認識は、この入札請負契約価格、税込みで1億1,000ですけど、税抜きで1億900万ということで、補正予算が2倍以上の補正予算を組んでるんですよね。要するに、この理由、どうして2倍にもなってしまったのか。そこの理由をもう少し、本会議ではまだちょっと不明確ですので、そこをもう少し詳しくお願いします。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 乖離があるという話は、部長が本会議場で答弁したとおりでございまして、まず、予算をとるときに何をもとにして予算をとったのかということですが、当然、設計書をつくります。設計書は電気に精通した設計会社に委託してつくっております。その中で、相談する中で、7割ぐらいいを受変電の動力盤だとかそういったものの見積もり価格で構成されてます。当然、設備業者も製造メーカーに見積書をとって計上します。3者以上ととるかと思いますが、その中で最低価格をとったというふうに聞いております。それで、一応全体の設計ができます。それをもって、私ども一応課として、議会のほうに予算を要求いたしました。

その後、発注する段階で、当然予定価格をつくらなければなりません。その予定価格をつくる時に、昨年度、小学校のキュービクル、これが七十数%で落ちておりますので、実態という業者同士で、業者と設置業者の関係で、キュービクルの本体の価格というのはかなり変わるというのは、私ども推測されますので、その落札価格が70%ぐらいと見て、見積もりに0.6を掛けまして予定価格をつくらさせていただきました。一番、私どもがこれでやって、前回どおりでしたらそごがないような形で落札されたと思うんですけど、先ほどずっと委員さんたちが言っているとおり、業者がさらに安い、今回、札を入れてきまし

たので、さらに差が広がったというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 関連ですけれど、当初は3者以上の見積もりをとって、それがベースになっていると。その金額が2億7,000で、実際には競争原理が働きますので、入札価格は税抜きで1億900万でいいんですけど、と私は思うんですけど、予定価格も1億6,600万、これが高いか低いかという先ほどの説明だと、6掛けをしたということなんですけど、そこで既に6掛けをして予定価格を出す。これは今までそういうことなんですか。これは今まで豊明市さんがとってきた予定価格の出し方、要するに当初予算におおよそ6掛けしたのが予定価格と、そういう理解でいいんですか。それか今回だけ特別なんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 基本的には余り、これも経験則なんですけど、普通は見積もり価格を参考というか、もとにしてつくりますので、余りそういった作業はしないんですが、今回、先ほども御説明しましたとおり、小学校の場合が70%台できましたので、そうすると後の単価につきましては、公表されています県の単価等を使っておりますので、設計書をいじるとなると、もう見積もりのところしかございませんので、今回、それに合わせるような形になるように6掛けでやったという経緯でございます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 小学校のキュービクルの予定価格の実勢を見て、見積もりに6掛けたと、そういうような説明だと思うんですけど、単純に比較しますと、1億の入札で議会に出してるのが2億7,000ということで、半分以上の金額が議会予算として確保されてるということていきますと、半分、1億どんだけが余剰金というか、実際、最終的に金額がどれぐらいの余剰になるかわからないというところもありますけれど、それにしても1億以上のお金が残るという結果に予算上なりますので、そういう当初価格の見積もりの仕方がいいのかどうか。で、それが3者以上の見積もりをとってその金額が出たということであるなら、3者以上の平均で2億7,000が出たという意味合いでいいんですか。まず1点目、聞きたいんですけど。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 3者見積もりにつきましては、最低価格をとったと聞いております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 最低価格が2億7,000で、実際の予定価格が1億6,600と。で、入札が1億1,000という金額の流れという、そういう理解でいいんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 最低価格を見積もりはとっておりますので、ほかの単価で積み上げてはいないんですけど、最低価格をとった段階で今の予算額が出たということでございます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 もう一度確認させてください。設計の段階で3者見積もりの最低価格で2,700万、それを小学校の……。

（桁が違う、2億の声あり）

○近藤郁子委員 ごめんなさい、2億7,000万。ごめんなさい、間違えました。桁を間違えました。それで、その中で小学校の予定価格というか小学校の価格をベースに考えて、60%くらいを2億7,000万に掛けて1億6,000万の予定価格にしたということによかったですか。違いますか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） ちょっと設計書について整理させていただきたいんですけど、今、言っとるのは、全ての価格の見積もりをとってではなくて、キュービクル本体。いろいろ配線とかありますよね、そういったものは単価がございますので、それは見積もりではございません。建設物価ですとか、いろいろ公になってる単価をとっております。だから、全てその見積もりではないわけでございまして、中の7割ぐらいが動力盤ですとか分電盤に対するのは工場生産になりますので、それは、一般に言われとる単価が出てないものですから、それが大体70%ぐらいを占めますが、それについての見積もりの最低価格をとって設計書をつくっております。ですので、3割部分につきましては、基準の単価

を使ってやらせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、動力盤、分電盤は、その中学校のボリュームとか規模によって、そこは製作ということになるんでしょうか、まず1点目。動力盤とか分電盤、要するに7割を占める動力盤とか分電盤は、それは既製の製品じゃなくて、受注者とか設置するところの大きさとかボリュームとかによって変わるという、まずそういう種類のものが7割を占めるとという意味ですか。ちょっと確認ですけど。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） その部分については注文生産と聞いておりますので、状況に応じた形で発注しとると思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 ということは、おおよそ7割を占めるところの見積もり価格が大きく実際の見積もりと入札のところ乖離したという理解になるんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そのとおりでございますが、それだけではなくて、あと、間接経費がございますよね。一般管理費ですとか、共通仮設費とか、現場管理費がございますが、それも業者から出てきます内訳表を見ると、かなり切り詰めていますので、今、言われたとおりで、キュービクル本体もかなり落ちておると思うんですが、そういった間接経費についても、業者のほうが少ない目に出してきたというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認ですけども、先ほど、予定価格を設定するときに、予算計上のところから6掛けしてというお話がありましたが、これは予算を計上するときに、事前にそういうふうに掛けて計上しておくことはできなかったんでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） まだ精査ができてなくて、概算で金額を出して予算をいただかないと、とても、1カ月以上かかりますので、契約事務に。いたし方なくそういったことができなかつたというふうに考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 素直に考えると、単純に考えると、小学校のときに7割の予定価格であったという経験値を踏まえれば、中学校のときの補正予算の金額も、そもそも最初からその金額をもう少しシビアな金額にできたんじゃないかと思うんですけど、そのことについては、そういうような積算方法はとらなかつたんでしょうか。あるいは、とらなかつたらその理由についてお答えください。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） 小学校の経験値といいましても、1者しか応札がなかつたという現状がございますので、やっぱり私どもとして、来年、何としても中学校にエアコンを入れたいという工期的なものがありますので、そこまでちょっとリスクを負って予算を確保するというのは難しかったというように考えております。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 宮本委員。

○宮本英彦委員 そこまで言われるなら、何でそれを6割の根拠にされたんですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） これ、ちょっとやりとりがずっとつながっていったんですけど、先ほどから。予算確保するときはあくまでも概算でやらせていただいて、精査する時間がなかつたわけで、発注する段階ではもっと詳細に出てきますので、そういった形で何とか小学校の経験値を生かしながら、今回そういった形で予定価格をつくらせていただきました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） 予算額と最終の契約額の乖離ということで、今、議論になつてくるわけなんですけど、課長が再三言っておりますように、今回、通常だと業者に委託をして設計をしていただいて、その設計金額から予算をとるのが通常なんですけど、今回は並行し

てやっておりました。設計をしていただきながら予算も獲得するというので、途中で何度も業者とは打ち合わせをさせていただきましたが、時間的な制約もあり、完全な設計ができ上がるまでの状態ではない部分で予算をとらないといけなかったというような事情がございます。

そうしたことで、業者から見積もりをとらないとわからない部品のものだとか、県の歩掛かりとかで、設計にも生かせる数字のものと両方あるわけなんですけど、見積もりをとらないといけないものについては、業者のほうから見積もりをとって、設計業者がとって、それを見せてもらって、最低の金額のところの積算をした。一方で、歩掛かりでわかるものについては、そのとおりの数字を持ってきて、その合計で6月の補正予算は出させていただきました。

が、その後の詳細な設計によると、まだまだ切り詰めるところがあったというようなことでもございまして、予定価格もそのように、先ほどからも議論になってるようになり、下がったということでもございまして、我々としても全力は尽くさせていただいたんですが、詳細な設計ができてない状態で予算をとらないといけなくて、そういった事情もございましたので御理解いただきたいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 今回の教育長の説明を確認させていただくと、終わりが決まっている、キュービクルをしないことにはエアコンの設置もできないと。国の補助金も入っているの、何としても3月末までにはエアコンも取り付けをしないといけないという理由があって、設計しながら予算の確保をするという、普通はしないような状態で、こういうふうに予算を確保したということでもよかったですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伏屋教育長。

○教育長（伏屋一幸君） そのとおりでございます。先ほどから申し上げておるように、国庫の関係がありまして、事故繰越にならないように事業を進めないといけないという、そういった制約もございました。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 もう一度確認なんですけど、ちょっと言葉を言いかえると、近藤郁子議

員が言われた内容を、もう少し言葉を言いかえると、要するに業者さんからの見積もりを、完全な設計の見積もりが出ないという状況でもあった一方で、スケジュール感が、補正予算のタイミングと、それから工事全体のスケジュール感を見ると、6月の補正予算のところで即断即決しなければならないという緊急性があると。そういう中で、予算、見積もりの金額をどの金額にしようかというところは、職員間の中でも十分議論はしながらも、それをベースにしながらも完全ではない業者の見積もりのほうも見ながら、その結果が2億7,000。ですから、完全に業者から出てきた見積もりがベースになつるとということではないというような理解でもよろしいのでしょうか。それか職員さんの見積もりをやった、さらにそれも、業者の見積もりも見ながらという、そこら辺の見積もりの積算の根拠の度合いというのはどの程度なのでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

小串教育部長。

○教育部長（小串真美君） 業者のほうとは、先ほどからお話ししているとおり、何度か打ち合わせをしながら進めています。で、通常的设计をやって予算をとった年度と、工事をやる年度というのは一般的には年度がまたいでいるかなと思います。今回は、途中で概算みたいな形で何度か数字はいただきながら、職員が積み上げて2.7億という予算をお願いしておるんですけども、今回、設計金額、先ほどから予定価格と言われておりますが、この設計金額を算出していくのに当たっては、成果物として設計事務所からいただいたものが、それは話し合いながらつくるんですけども、そこには直近の相場観みたいなものも入れて、極力正確な調達に結びつけたいと。結果的には1者が最低制限にひっかかりましたけれども、2者がその中に入って、それも結構低いところで落ちるということで、私個人的にはこれ、結構いい設計ができたかなと思っております。今回、そういった点でもちょっと特殊ですので、設計事務所から出てきた最終成果物が設計金額で、それが1.8億ということで、少しやり方が通常のパターンとは違ったものですから、なかなかちょっと御理解、難しい点があると思いますが、今、申し上げたことで、結果としては非常にいい数字が出たのかなと思っておりますので御理解いただきたいと思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの話のちょっと確認ですけども、本会議でも質問、ありましたけども、最低落札の金額を提示しているところが今回、落札されなかったということで、それは予定価格の6割を下回ると、粗悪品だったりそういうものがあるということで、落

札されないということですが、そうなると、仮に最初に予算計上されていた金額がそのまま予定価格になっていた場合は、今回のようなものと全て不落という形になるということですか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） はい、そのとおりでございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 逆にいうと、予定価格がもう少し下の金額であったら、今回、最低の金額を出されてるところが入札で落ちたというようなことですよ。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） はい、そのとおりでございます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回、そこで最低金額のところは落札されなかったんですけども、ここの企業はそういう粗悪品だったりとか、そういうことだというふうには言い切れるのでしょうか。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

高木課長。

○学校教育課長（高木安司君） そういったことは、きちんとした会社ですので言えないと思います。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 小串教育部長。

○教育部長（小串真美君） 済みません、補足します。私どもの一定のルールの中で、6割というのが最低制限価格ということでやっております。これは、必ずしもそこに当たった業者が少し悪い製品を納めたりだとか、従業員を無理して働かせているということでは決してありませんので、その点だけは御理解いただきたいと思います。

終わります。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の第59号の工事請負契約の締結についてですが、賛成の立場で討論いたします。

中学校のエアコン設置ということで、スケジュールもありますので、今回、賛成いたしますが、やはり予算で計上されていたときより本当に半額以上の余りにも高い乖離があるというふうに思っております。そもそも、そういった予算金額が適正であったのかということも疑問でありますし、予定価格が本当に適正であったかということも疑問であります。今後、このようなことがないように、厳格な予算計上をお願いしたいというふうに思います。後ほど、附帯決議を提出したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 議案第59号 工事請負契約の締結については、賛成の立場で討論をします。

まず、1点目のスケジュール感は、言われるように、昨年度からの継続案件で、今期中に契約しなければならない、そういう点では非常にスケジュールはタイトであったということの中での事業推進ということで行くと、妥当性があるというふうに判断しています。それから、この請負業者そのものにつきましても調べましたら、かなりの公共施設の実績を持っていますので、ここの契約が1億1,000で、1億900万か、税抜きですけど、入札できたということについても、私はこれは競争原理がきちっと働いているなど。

さらには、その予定価格1億6,600万も、その金額自体も私自身はそう違和感はない。それに対して1億900万、ともに税抜きですけど、その金額で落札されていると。やはり問題は2億7,000という当初予算のところの積算の仕方、これが余りにも乖離し過ぎて、です。そうすると、本当に今後の入札の予定価格に信憑性があるのかどうかという。今回だけ、いろんなスケジュール感の要素が働いたとはいえ、あるいは、エアコンという季節的な、あるいは他の自治体との競争の中での金額が最終的に大きく落ちたという、そういう特殊要因はあろうかとは思いますが、ただこれからのことを考えますと、あるいは市民の人に、2億7,000万でということの金額の妥当性をきちんと説明できるということかどうかということになるとやや不安があるなど。ですから、やはり今後は当初の見積もりについてのきちっとした精査をお願いしたいということの問題意識を持っているということだけ、一言申し添えておきたいと思っております。そういうことを踏まえて、賛成討論で

す。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤郁子委員。

○近藤郁子委員 賛成の立場で討論させていただきたいと思います。

スケジュール感の中で、どうしても慌ててというか、補正予算をとられたということですが、昨年のうちからもうこういうことがわかっているのです、そこまで慌てなくてもよかったんじゃないかと。もう少し早目にいろんなことを計画されていれば、こんな乖離した、たくさんの補正予算を上げることもなかったのかなと思ったりもいたします。ただ、予定価格に関しては、小学校のことを考えて適切にされたんだろうなというふうには思います。最低価格だった業者がとれなかったことについても、一定のルールにのっとって、粗悪品というようなことが、万一、可能性として乗かってしまうということも、そのためのルールなので、それは、最低価格のところが入札ができなかったのも、それもこういう公共の工事に対しては仕方がない、そういうことかなというふうには考えております。討論はもう少しまた詳しくはいたしますけれども、予定価格、補正予算との乖離についても、もう少し慎重にやっていただきたいということをお願いして、賛成とさせていただきます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 議案第59号について賛成の立場で討論いたします。

先ほど来いろんな設計予算、予算額のいろんなお話、出ましたけれど、設計する側とすると、キュービクルの中、ボディーというのはほとんどスチールなんで変わらないんですけど、動力の基盤、変圧をしたりするところはすごく難しい設計なんだそうです。いろんなところで、もしも設計したけれどすごい高い金額になってしまったということは当然許されないのです、慎重になった結果かなとは思いますが、いずれにしてももう少し精査できたのかなと。ただ、スケジュール的に、例えば来年の夏、今、小学校のスケジュールでやってるような、来年の施工だったということにするときの設計と、もう今からすぐやって、すぐ発注してやらなきゃいけないというところで、いろんなスケジュールによっても見積もりは変わってきます。で、繰り返しになりますが、盤の中と外は配管、いわゆるVAの線と、カバーのVP管等の価格というのはほとんど変わりません。何千メートル何百メートル使っても変わりませんが、盤の中身が変わると、それに伴う間接的な経費が、中身が安くなれば経費もぐっと安くなるわけなので、そういったところでこういう乖離ができたのかなと。

で、粗悪品云々ということは議論するまでもなく、電気に関する、高圧の電力に関して

は非常に厳しい保安基準がありますので、それは当然クリアされるわけなので、そこについては議論する必要はないと思います。

いずれにしても、いつも申し上げますが、高圧の電源を扱う工事なので、決して事故がないように留意していただいて、取り進めていただきたいということを申し添えて賛成とします。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 賛成の立場で討論させていただきますけど、やっぱり見積もり価格がもう少し、最初から安く設定されていれば、今回、3者目の会社が多分、落札されてたんじゃないかなと思うんですね。そうすると、やっぱり1,000万くらい変わってくる結果になったのかなと思っています。だからちょっとそこがもったいなかったかなと。金額的にね、少し節税できたのかなと思ひまして、討論を終わります。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第59号は原案の通り決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第59号は、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この議案につきましては、附帯決議を提出したいので、委員長の推しはかりをお願いします。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ただいま林委員より附帯決議案の提出の発言がございましたので、文書にて提出を願うため、暫時休憩といたします。

午前11時26分休憩

午前11時43分再開

○建設文教委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

休憩中に林委員より、お手元に配付してありますとおり、附帯決議案が提出されましたので、提出者より趣旨について簡潔に説明を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 議案第59号 工事請負契約の締結に対する附帯決議案を提出させて

いただきました。

豊明中学校ほか2校のキュービクル更新等に係る工事請負契約の締結について、1億1,990万円という金額が示されました。猛暑の中、中学生らが一日も早くエアコンが整備された快適な環境で学習に励めるようにするための大切な事業であります。しかし、さきの6月定例会議会において補正計上されたばかりの予算額は2億7,148万円であり、契約金額との間に大きな乖離があります。また、予定価格についても、1億8,348万円で予算額を大きく下回る金額となっています。

これらのことは、当局が設定した予算や予定価格が適正であったかどうかを疑わせるものであります。我々議会は、設計金額等が非公開の中、極めて少ない情報で提案された予算の妥当性を判断せざるを得ず、いわば当局を信頼する形で予算を決定しております。予定価格に至っては全く当局の裁量で、議会に関与する余地はありません。予算と予定価格にこのような大きな差があっては、契約額の妥当性も判断できず、市民に対して説明責任を果たすこともできなくなります。

本来ならば、以上の状況に鑑み、否決もやむを得ない議案ではありますが、事は子どもたちの学習環境にかかわる緊急課題であり、認めざるを得ないと考えます。今後は、このようなことがないように、慎重かつ厳格な予算計上と予算価格の決定を行うことを強く求めます。

以上、決議します。

○建設文教委員長（清水義昭議員） 趣旨説明が終わりました。

これより附帯決議案に対する質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 以上で附帯決議案に対する質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

宮本委員。

○宮本英彦委員 討論に入る前に、ちょっと休憩をとりたいと思うんですけど、いかがでしょうか。休憩動議を出したいんですが。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ただいま宮本委員より休憩動議が出されました。お諮りいたします。休憩に御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 御異議なしと認めます。

では、暫時休憩といたします。

午前 11 時 48 分休憩

午前 11 時 56 分再開

○建設文教委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

附帯決議案に対する討論に入っています。

討論のある方は挙手を願います。

討論です、附帯決議案の討論です。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 附帯決議に反対の立場でお話しします。

この附帯決議を読ませていただきますと、まず、先ほど来、委員会の中で2億7,000万という予算がおかしいという、はっきり言ってそういう御意見でしたが、恐らく本来は今ごろゆっくり設計をして、いろんな業者さんとのやりとりもあっての見積もりが、急遽6月議会にということ、実質2カ月、その間に選挙等もありましたけれど、2カ月で設計した中では、やっぱり委員会の中で申し上げたように、いろんなキュービクルの中身については、業者さんによって幾らですよって言ったらそれだけで組まなきゃいけないということもありますので、積算する側にとっては多少、余裕ではないけれど、足らなくてはいけないという、そういった心理も働きますので、設計予算については仕方がない。実際に妥当な金額で入札していただいたわけです。小学校の入札額ともさほど、小学校よりもちよっと有利なぐらいの入札額で落ちてますので、私にとってはこの議案については問題がないと思っております。

この附帯決議の内容について、契約額の妥当性が判断できない、否決もやむを得ないということを書かれるのであれば、附帯決議を出されずに反対をされればいいと思いますので、以上の理由をもって、私は附帯決議に反対します。つけ加えますと、安全に完工、完了していただくことが大切であって、当局さんを信頼して進めていっていただきたいと思えます。

以上です。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

宮本委員。

○宮本英彦委員 この附帯決議案に対する、未来クラブとしては、趣旨に対しては、おおよそこういう趣旨に対しては一定程度納得はできますところではありますが、ただ、文章表現上、例えば我々議会は設計金額等が非公開の中という、こういう文章、あるいは予

定価格に至っては当局の裁量で、議会が関与する余地はない。要するに、設計金額を公開しとるといふところがあるかどうか、あるいは予定価格が当局の、議会が関与する余地があるかどうか、そこら辺について非常に疑義を感じますので、そのような文章表現であること。そして、本来ならばやむを得んけど、議決は否決だと、こういう文章が記載されること。そういうような文章表現なり中身についての、この附帯決議案をそのまま賛成するということはちょっと難しいなど。したがって、この表現の附帯決議案であるなら私は反対という討論をさせていただきます。

○建設文教委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 済みません、先ほど私の発言の中で、附帯決議のことをまた——というふうに言い間違えた部分が多数あったようで、訂正をお願いします。

○建設文教委員長（清水義昭議員） わかりました。後刻精査いたします。

ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

附帯決議案に対する採決は挙手により行いますが、挙手をしない委員は本附帯決議案に対し反対とみなします。

それでは、採決を行います。

議案第59号の附帯決議案に賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○建設文教委員長（清水義昭議員） 賛成少数であります。よって、議案第59号については、附帯決議を付すことは否決されました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○建設文教委員長（清水義昭議員） ありがとうございます。

委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて建設文教委員会を閉会いたします。

午後零時閉会